『できる日本語』を初めて手に取った人のための解説ノート

『できる日本語』を使って、

＜わくわく授業＞をめざそう！

・「できる日本語」シリーズとは？

・『できる日本語』は、どんな教科書なのか？

・『できる日本語』で、どんな授業をめざすのか？

・『できる日本語』の構成と進め方

・その他：「文脈化」＆「他者への配慮」

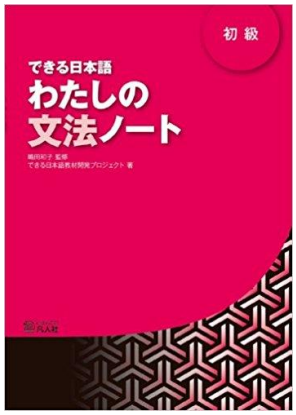
嶋田　和子

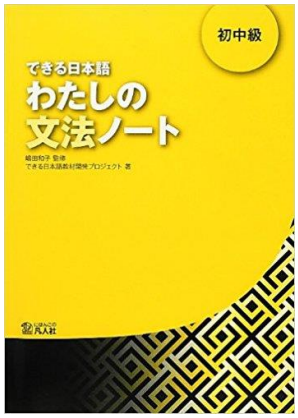
一般社団法人　アクラス日本語教育研究所

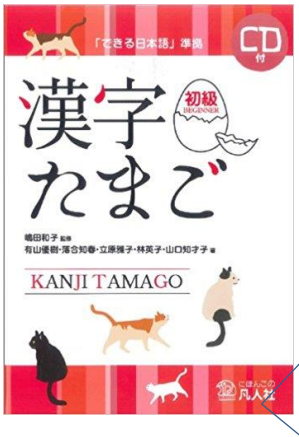
kazushimada@acras.jp

■「できる日本語」シリーズとは？

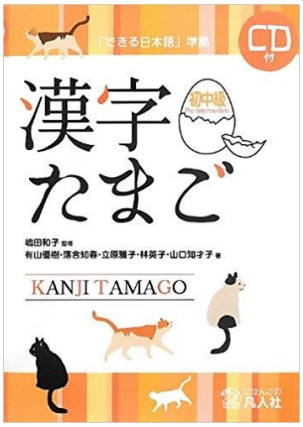
中級に関しては、
今年度中に
『「ことば・表現」
　　練習帳（仮）』
が出版されます。

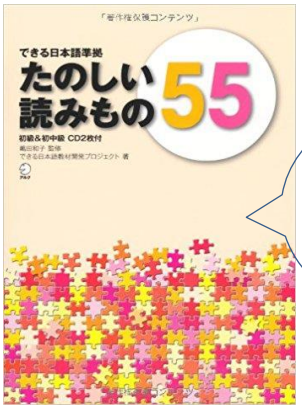






本冊と数課ずらして使います。漢字圏も非漢字圏も、一緒に楽しく学べる仕掛けになっています。





本冊に適宜入れ込んでいきます。

■『できる日本語』は、どんな教科書なのか？

プロフィシェンシー（熟達度）を重視した教科書です。CEFR や OPI などの考えをもとに、行動主義に基づいて作成されました。
また、教育現場で、長年かけて「作成した教師／「試用教科書」を使った教師／授業を受けた学習者」間での「対話」を重ねて出来上がりました。

① 行動目標(Can-do-statement)が明確である。

② 場面・状況を重視している。

③ 学習者にとって必然性のあるタスクである。

④ タスク先行（まずチャレンジ！）で進める。

⑤ 文脈化を大切にしている。

⑥ 「固まりで話すこと」を重視している。

⑦ スパイラル展開を重視している。

⑧ 「他者への配慮」のある談話となっている。

※最近、①～④を特徴とする教材は出てきていますが、⑤～⑧は、あまり考えられていません。しかし、これらの特徴こそが重要なポイントとなります。

◎会話力が身につくだけではなく、言語的知識もしっかり身につきます。

理由：・場面・状況、文脈の中で学ぶことによって、長期記憶につながる。
・アウトプットが多いので、チェックする機会が増える。
・『わたしの文法ノート』は、「**双葉➡水やり➡花**」と段階を踏んだ練習になっている。
※「初中級」には「**双葉＋四つ葉**」もあります！

その結果：ＪＬＰＴ対策は、特に要りません。ただし、試験の形式に慣れることは必要ですが……。
聞くことが多いので、ＪＬＰＴの聴解テスト、ＥＪＵの聴解および聴読解の点数が大幅アップします。

■『できる日本語』でどんな授業をめざすのか？

「自分のこと／自分の考えを伝える力」「伝え合う・語り合う日本語力」を身につけることを目的に作成されました。日本語によるコミュニケーションの中でも「**対話力**」に重きをおき、**社会・人とつながる**ことをめざしています。

① 教室のコミュニティ化を図り、外とつながる授業

② 教室の中で、多方向性のある「多様な対話」が生まれる授業

③ 達成感が実感できる授業

④ 学習者が自律的に学びたくなる授業

学習者も教師も「わくわくする授業」をめざして作りました！！

『できる日本語』の大きな特徴の１つとして、まず共通テーマを考え、それをもとに初級・初中級・中級と**スパイラルに展開**できるようにグランドデザインをした上で、初級から作り始めたことが挙げられます。

初級、初中級、中級の行動目標に関して、１課と６課を取り上げてご説明します。

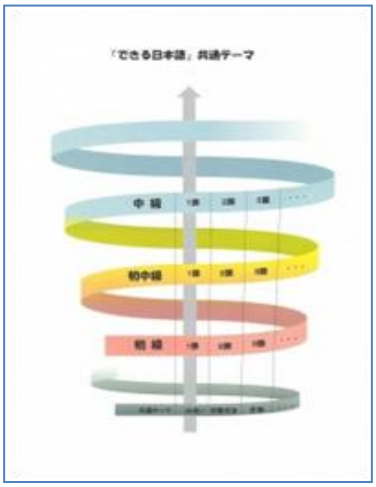


図１スパイラル展開

表１　『できる日本語』各レベルの１課「行動目標」

１課	中級	新たな出会い	新しい環境に自分から挑戦して、その環境で印象的に自己紹介することができる。
	初中級	新しい一歩	初めて会った人に丁寧に自己紹介したり、印象よく問い合わせしたりすることができる。
	初級	はじめまして	簡単に自分のこと（名前・国・趣味など）を話したり相手のことを聞いたりすることができる。

➡３つのレベルの「自己紹介」に関して、ビデオで比べてみましょう。

表２　『できる日本語』各レベルの６課「行動目標」

６課	中級	地図を広げる	ふるさとや住んだことがある場所の地理や気候に合わせた生活を紹介して、お互いの理解を深めることができる。
	初中級	旅行に行こう	旅行に行くために事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる。
	初級	一緒に！	友達を誘ったり、行きたいところやしたいことを一緒に相談したりして、約束することができる。

表３　『できる日本語初級』６課のシラバス

課	行動目標	ＳＴ	タイトル	できること	学習項目
初級６課	友達を誘ったり、行きたいところやしたいことを一緒に相談したりして、約束することができる。	1	一緒に行きませんか	友達を誘うことができる。また、誘いを受けたり断ったりすることができる。	Ｖませんか　　Ｖましょう ～はちょっと・・・ [場所]で～があります ～が（～枚）あります
		2	どちらがいいですか	友達の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談することができる。	～で～がいちばんＡです ～と～とどちらがＡですか ～のほうがＡです ～は～よりＡです
		3	約束	会う場所や時間などを約束することができる。	もうＶましたか（経験） まだです ～よ ～はどうですか ～ね（確認）

➡６課を使って、課の構成、学習項目の進め方などについて説明しましょう。

表４　各レベルのタイトル

	共通テーマ	初級	初中級	中級
1	出会い	はじめまして	新しい一歩	新たな出会い
2	消費生活	買い物・食事	楽しいショッピング	楽しい食事・上手な買い物
3	計画	スケジュール	私の目標	時間を生かす
4	私がいるところ	私の国・町	住んでいる町で	地域を知って生活する
5	できごと	休みの日	大変な１日	緊急事態！
6	外に出る！	一緒に！	旅行に行こう	地図を広げる
7	交流	友達の家で	西川さんの家へ	世代を超えた交流
8	想い	大切な人	ありがとう	気持ちを伝える
9	趣味・余暇	好きなこと	アルバイト先で	言葉を楽しむ
10	旅	バスツアー	旅行に行って	日本を旅する
11	ライフ	私の生活	地域社会の中で	ライフスタイル
12	健康	病気・けが	私の健康法	心と体の健康
13	影響	私のおすすめ	親の気持ち・子の気持ち	トレンドに乗ってつながる
14	文化	国の習慣	イベント・行事	カルチャーショック
15	メディアと暮らし	テレビ・雑誌から	気になるニュース	情報社会に生きる
16	教育			学校生活
17	仕事			働くということ
18	環境			地球に生きる
19	科学			科学の力
20	豊かさ			豊かさと幸せ

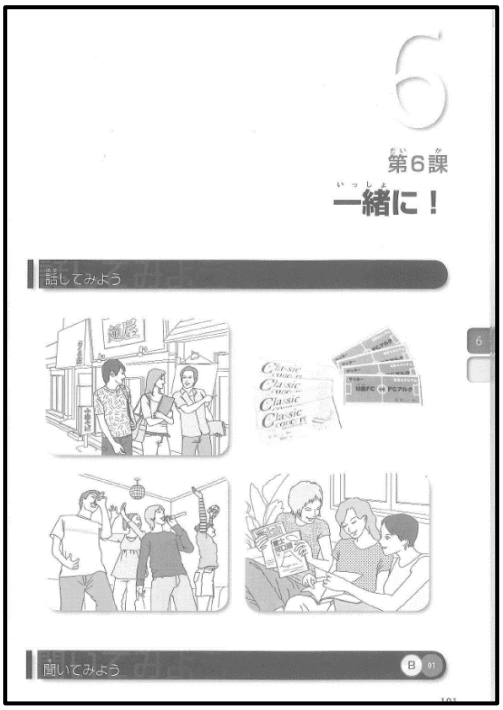
■『できる日本語』の構成と進め方～「初級６課」を例として～

１.【話してみよう】

３枚のイラストと１枚の写真があり、２つの役割があります。

１.これまでに習ったこと・知っていることを使って、どんどん話してみる
２.この課で学ぶことのイメージ化を図る

時間はクラスにもよりますが、５～８分です。

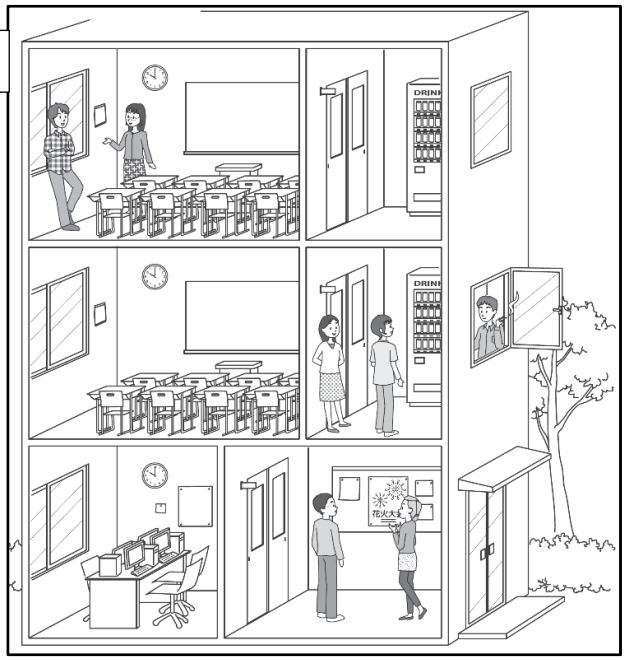


２.【聞いてみよう】

【話してみよう】の次は、【聞いてみよう】です。その課の勉強を始める前に、「この課ではどんなことを学ぶのだろう？」と思いながらＣＤを聞きます。
知っている言葉を手掛かりにして、「何と言っているのだろう？」と推測しながら聞くことで、ヒアリング力が身に付きます。
（ここは、内容は分からなくてもいいのです。「何が聞こえましたか？」程度で終わります）

【聞いてみよう】と最後に聞く【もう一度聞こう】は、同じ内容です。
その課の学習が終わった時、もう一度同じ内容のものを聞くことで、「最初はよく分からなかったけれど、もうよく分かる！」と、学習者の達成感が高まります。

状況イラスト



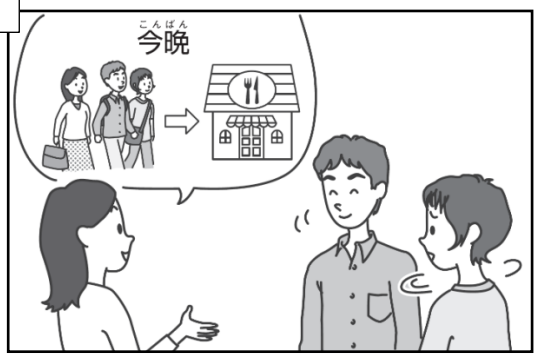
３．チャレンジ！

次は、【チャレンジ！】です。チャレンジには、「状況イラスト」と「コマイラスト」があります（コマイラスト＝その状況のもとで行われる会話を表したイラスト）。

「いつ、どこで、誰が、何をしているのか」を考えます（説明文がありますが、授業では学習者とやり取りをしながら進めます）。

教師：　　ここはどこですか。
学習者１：学校です。
学習者２：教室です。
学習者１：あ、授業じゃありません。休みます。
学習者２：話します。
学習者３：ポスターを見ます。
学習者２：あ、タバコです。
教師：　　そうですね。休み時間です。話をします。
➡つづく

コマイラスト



次に、「コマイラスト」を見ながら、学習者は状況を理解し、「こんなとき日本語で何と言うんだろう？」と考えて、チャレンジします。

まだ「一緒にご飯を食べに行きませんか」は習っていないので、言えません。でも、言いたいことは頭の中に浮かんでいます。
何とか言おうとチャレンジして、これまでに習った文型・語彙を使って次々に話し始めます。これが「タスク先行」です。
ただし、学習者が知っている文型・語彙を使って単に「話して終わり」というのではなく、そのイラストが示している学習項目に注目できるようにすることが大切です。

教師：　　（イラストの吹き出しを指して）
　　ワンさんは何をしたいですか。
学習者１：ご飯を食べたいです。
学習者２：レストランへ行きたいです。
学習者３：ダニエルさん、パクさんと行きます。いいです。
教師：　　（イラストのダニエルさんを指して）ダニエルさんは？
学習者１：はい、行きます。
教師：　　ワンさんは、何と言いますか。じゃあ、ＣＤを聞いてください。

チャレンジしたら、ＣＤを聞きます。

ワン：パクさん、ダニエルさん、今晩一緒にご飯を食べに行きませんか。
ダニエル：いいですね。食べに行きましょう。

教師は学習者と一緒にＣＤを聞きながら、学習者の気づきを促します。学習者から「食べに行きませんか」「食べに行きましょう」という文が出てくることもあれば、聞きとれない場合もあります。教師は、ポイントとなる学習項目である「食べに行きませんか」「食べに行きましょう」をホワイトボードに書きます。

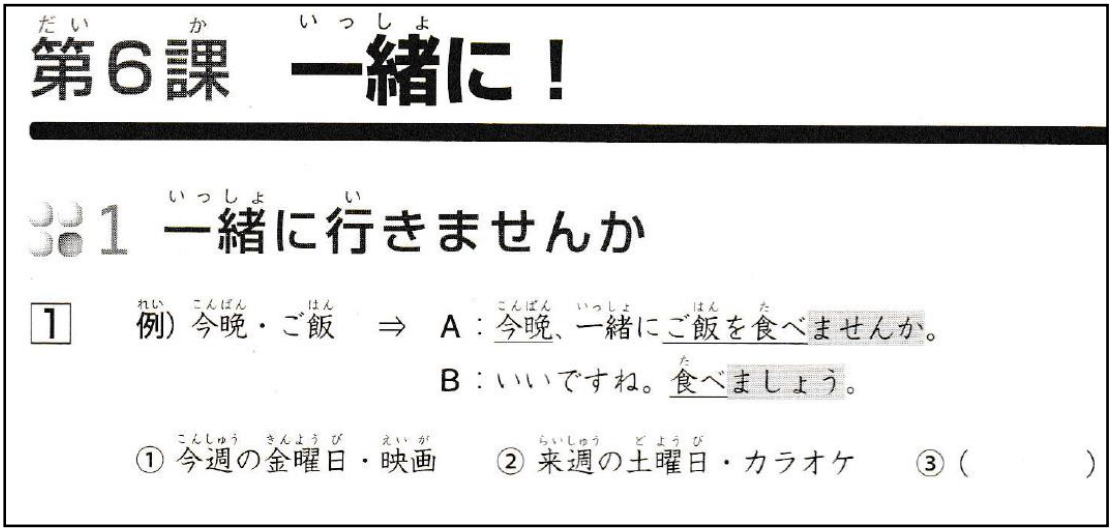
４．【言ってみよう：別冊】

【言ってみよう】は、別冊と本冊に分かれています。その理由は、以下のとおりです。

> 別冊は単文レベルの練習です。いわゆる「お口の練習」ですが、これは学習者によって量も異なります。こういう練習がほとんど必要ない場合もあれば、もっと増やしたほうがいい場合もあります。そういう柔軟性を持たせたいということから別冊にしました。

別冊は飛ばしながらやってもいいですが、別冊に「新出語彙」がある場合もありますので、気をつけてください。それは、場面・トピックでくくられているので、本冊に入りきらない語彙を拾いたいと考えたからです。

本冊も同様ですが、教科書を見ながら「ただの入れ換え練習」のような形にはしないでください。また、ダラダラと時間をかけず、リズミカルに進めてください。


第6課　一緒に！

1　一緒に行きませんか

1　例）今晩・ご飯　⇒　A：今晩、一緒にご飯を食べませんか。
B：いいですね。食べましょう。

①今週の金曜日・映画　②来週の土曜日・カラオケ　③（　　）

ここで新出語彙は「今週・来週」「カラオケ」です。
新出語彙は、文脈の中で入れていきます。課の最初にまとめて導入といったことはしません。
別冊が終わったら、次は**本冊**です。ここはしっかり磨いてください。

５．【言ってみよう：本冊】

言ってみよう

1

例）A：今晩、一緒にご飯を食べませんか。

B：いいですね。食べましょう。

B：ああ、今晩ですか。すみません。
今晩はちょっと……。

例 今晩・ご飯

① 今週の金曜日・映画　② 来週の日曜日・サッカー

③ 夏休み・富士山　④ 今月の20日・コンサート

ＳＴ１「一緒に行きませんか」の【言ってみよう】2～4もちょっと見てみましょう。

2

例）A：今晩、カラオケに行きませんか。

B：ああ、今晩ですか。すみません。
今晩はちょっと……。用事がありますから。

A：ああ、そうですか。残念です。じゃ、また今度。

3

例）A：あ、横浜で野球の試合があります。

B：へえ。

A：Ｂさん、一緒に見に行きませんか。

B：いいですね。

4

例）A：Ｂさんはサッカーが好きですか。

B：はい。

A：そうですか。サッカーのチケットが２枚あります。
一緒に見に行きませんか。

B：わあ、いいですね。行きましょう。

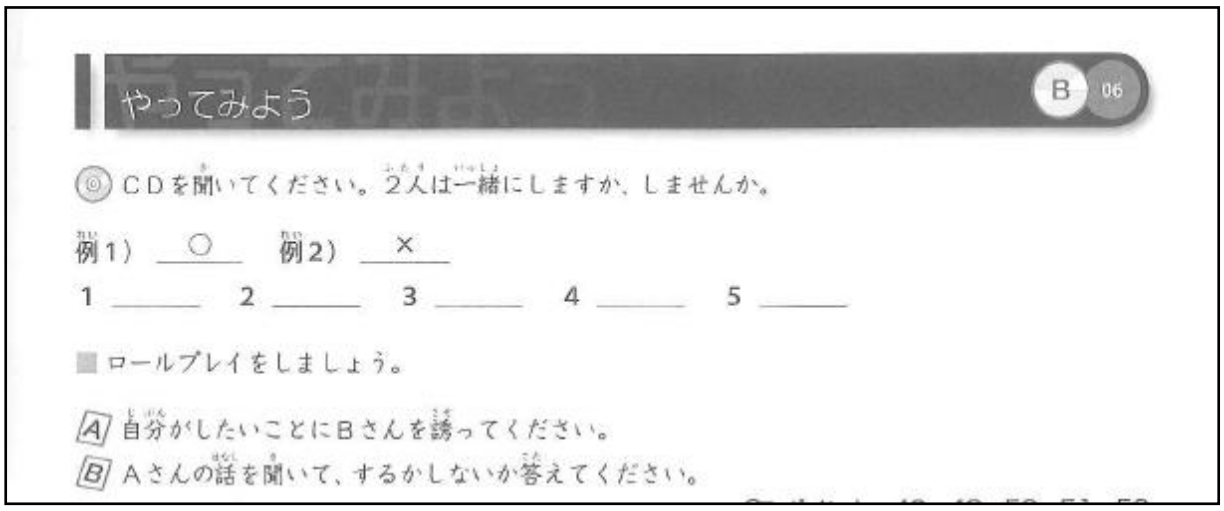
【言ってみよう：本冊】を見ると、何度も「～ませんか」「～ましょう」が繰り返し出てきます。ここでは、２は「＜用事／予定／仕事＞があります」、３は「(場所）で＜イベント＞があります」、４は「＜チケット＞があります」と、３種類の「～があります」を新たに学びながら、誘いの表現を何度も繰り返しながら学んでいく形を取っています。

６．【やってみよう】

【やってみよう】は、ＳＴの「できること」を達成するためのタスクです。タスクを行う際には、正確さも大切ですが、流暢さ、適切さなどにも注意してください。

タスクの前に、ＣＤを聞きます。これは聴解練習のためではなく、学習者が話す際のヒントになることをねらいとした会話例が収められています。

ちょっと６課ＳＴ１の【やってみよう】を見てみましょう。


やってみよう　B 06

◎ ＣＤを聞いてください。２人は一緒にしますか、しませんか。

例1）　○　　例2）　×

1 ＿＿＿　2 ＿＿＿　3 ＿＿＿　4 ＿＿＿　5 ＿＿＿

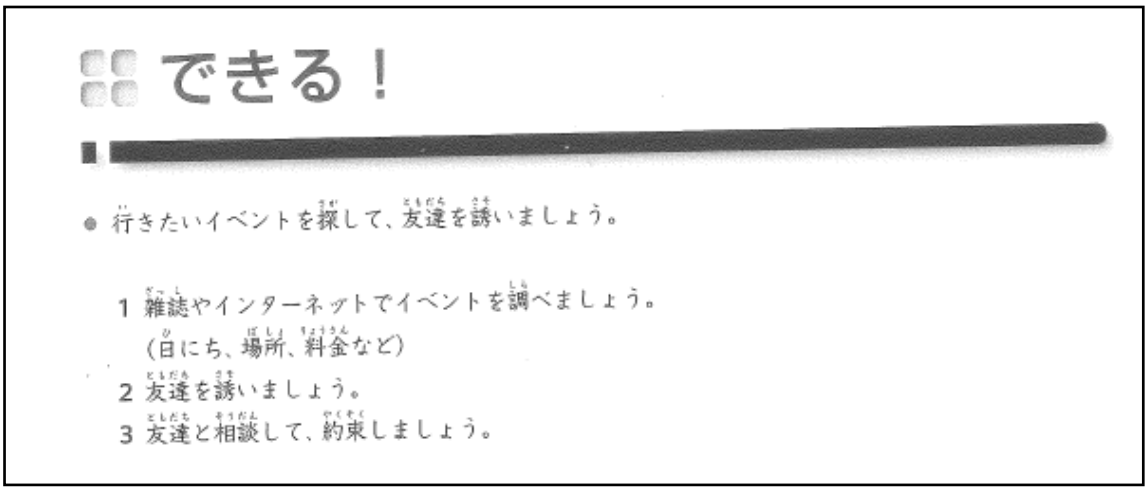
■ ロールプレイをしましょう。

A 自分がしたいことにＢさんを誘ってください。

B Ａさんの話を聞いて、するかしないか答えてください。

ＣＤには全部で、７つの会話があります。ＳＴ１で既に、「誘い方にはいろいろなる」「断り方にもいろいろある」ことを学びましたが、ここでもう一度復習の意味も兼ねて、聞いてみます。「相手の意向や都合を聞いてから誘う」「自分がしたいから誘う」「チケットがあるから誘う」……実に多様な誘い方を学ぶことができます。

７．【できる！】



できる！

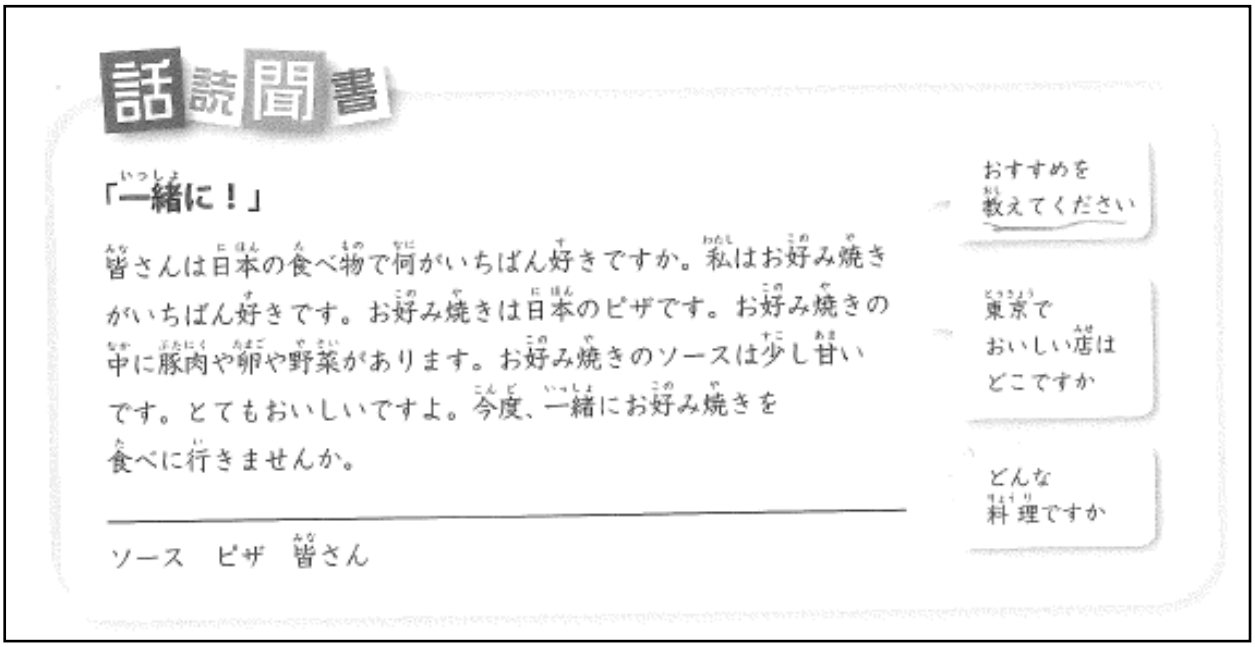
● 行きたいイベントを探して、友達を誘いましょう。

1 雑誌やインターネットでイベントを調べましょう。
（日にち、場所、料金など）
2 友達を誘いましょう。
3 友達と相談して、約束しましょう。

３つのＳＴが終わったら、最後に各課の行動目標に即した総合的な活動をします。それが【できる！】です。より広い実際の接触場面を意識しながら行います。実際の場面で行なうことが難しい場合には、教室で行うことを想定したタスク「教室でできる！」を活用してください。

既に、実践例がアクラスのホームページなどに載っていますが、今後はエクセル表でまとめたものを公開したり、実践例の共有を増やしていきたいと思っています。

８．【話読聞書】



話読聞書

「一緒に！」

皆さんは日本の食べ物で何がいちばん好きですか。私はお好み焼きがいちばん好きです。お好み焼きは日本のピザです。お好み焼きの中に豚肉や卵や野菜があります。お好み焼きのソースは少し甘いです。とてもおいしいですよ。今度、一緒にお好み焼きを食べに行きませんか。

ソース　ピザ　皆さん

おすすめを教えてください

東京でおいしい店はどこですか

どんな料理ですか

【話読聞書】は、読解文でもなければ、作文を書くためでもありません。「固まりで話すこと」をめざしています。これは、初級のスタート時点からやっていくことで、どんどん話す力がついてくるのです。

各課に１つずつ自分の中に「私の国・町」「楽しい１日」「私のおすすめ」など、＜ストーリー＞を蓄積していきます。そのことで、さまざまなことについて、長く滑らかに話せるようになると言えます。
また、聞いている人に分かりやすく伝えるためには、話の流れも大切です。【話読聞書】では、話の流れも意識して話すことをめざしています。

【話読聞書】の「話」と「聞」の字が大きくなっていますが、これは初級・初中級では、話すこと・聞くことを重視したいからなのです。でも、同時に「読」「書」も忘れてほしくはないということで【話読聞書】としました。
（【話読聞書】に関しても、今後実践例などを発信していく予定です）

９．【もう一度聞こう】

最初に「聞いてみよう」で聞いた内容を、もう一度聞きます。課の学習に入る前にはよく聞き取れなかった内容が、この時点ではよく聞き取れるようになり、さらに話すことができるようになります。そのことによって、学習者は「ああ、こんなに分かるようになった！話せるようになった！」という達成感を味わうことができます。これが、次への「学習意欲」につながります。

■その他：「文脈化」　＆　「他者への配慮」

３ページで『できる日本語』の８つの特徴を挙げ、以下の４点は他の教科書にはほとんど見られないものであると書きました。「固まりで話すこと（⑥）」と「スパイラル展開（⑦）」を重視している点については既に触れましたが、「文脈化（⑤）」と「他者への配慮（⑧）」についてはまだ触れていません。そこで、ここで簡単に説明しておくこととします。

６課ＳＴ１は「友達を誘うことができる。また、誘いを受けたり断ったりすることができる」です。そこで、ＳＴ２では、「相手の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談することができる」をめざすことになります。さらに、ＳＴ３では、「会う場所や時間などを約束する（ＳＴ３）」ことになります。こうして、６課の流れは、接触場面を考えながら、文脈のある構成となっているのです。

１つ１つの談話の中にも文脈化が見られますし、各ＳＴにおいて、また課の中においても、文脈化を大切にしています。

他者への配慮に関しては、随所に見られますが、７課「友達の家で」ＳＴ３「みんなで楽しいパーティー」にこんな会話があります。

【言ってみよう：本冊】

４．　例１）　Ａ：サラダはまだありますか。
　　Ｂ：はい、まだあります。どうぞ。
　　Ａ：ありがとうございます。

　　例２）　Ａ：ビールはまだありますか。
　　Ｂ：すみません。もうありません。ワインはどうですか。
　　Ａ：いいですね。

例１では、Ｂさんが「どうぞ」と付け加えるだけで、やり取りの雰囲気は変わってきます。例２は、断る場面ですが、「ビールはまだありますか」「いいえ、もうありません」といった会話ではなく、こうしたやり取りをすることで、冒頭で述べた「人とつながる日本語」を身に付けることができるのです。

◆　◆　◆　◆　◆

★アクラスのホームページ

いろいろな実践例が載っていますが、ここではいくつか例を挙げておきます。

○初級クラスでの“つながり”のある自律的な学び
～『できる日本語初級』６課の実践から～
http://www.acras.jp/?p=6830

○『できる日本語 中級』「世代を超えて」の実践例(2014.12.8)
http://www.acras.jp/?p=3552

○留学生、近所のお宅を訪問して～
『できる日本語 中級』「世代を超えて」実践第二弾(2014.12.19)
http://www.acras.jp/?p=3612

○「日本の料理を留学生に食べさせたい！」と、
地元の方々が年末パーティーに参加(2014.12.20)
http://www.acras.jp/?p=3631

★時間があったら読んでいただきたい論文

◆嶋田和子(2008)「なぜ今プロフィシェンシーを考えるのか―教育現場の視点から」鎌田修・嶋田和子・迫田久美子偏重『プロフィシェンシーを育てる―真の日本語能力をめざして』凡人社、pp. 2-17

★参考になるサイト

◆アクラス日本語教育研究所

http://www.acras.jp/

「できる日本語」特設ページがあります。

◆『できる日本語』アルク特設ページ

http://www.alc.co.jp/jpn/dekirunihongo/

教科書の特徴、採用校の声、学習者の声など、いろいろな情報が載っています。

◆アルク　ダウンロードセンター

http://www.alc.co.jp/dl/

「できる日本語」の英語、中国語、韓国語、ベトナ ム語の翻訳（Can-do-statement とことばページ）がダウンロードできます。

◆「教科書について考えてみませんか？」(『月刊日本語』連載記事)

http://www.nihongohiroba.com/?p=2254

【参考】『みんなの日本語初級１』より

＜初版＞１７課　p. 138

今晩　飲みに　行きませんか。
…すみません。きょうは　妻と　約束が　あります。
　ですから、早く　帰らなければ　なりません。

＜第２版＞１７課　p. 144

今晩　飲みに　行きませんか。
…すみません。明日から　ホンコンへ　出張しなければ　なりません。
　ですから、早く　帰ります。

◆『できる日本語』では、「～なければなりません」をどう扱っているでしょうか？